

目次 CONTENTS -

特集 新病院開院から 1年半経過して	1
特色ある診療内容診療科・部門紹介 高次救命治療センター	2
岐阜大学病院 診療案内	3
岐阜大学病院の個人情報保護について	3
位置図 岐阜バス岐阜大学病院行き系統 路線図	
病院へのアクセス 病院駐車場のご案内	4
患者様へのサービス 医療福祉センターの役割	5
セカンドオピニオン外来の紹介	5
入院生活	6
患者様のご意見について	6
病棟での看護	6
病院統計	6

病院の理念と基本方針

あなたとの対話が創る信頼と安心の病院

基本方針

1. 患者様中心のチーム医療を提供します。
2. 人間性豊かな医療人を育成します。
3. 高度先進医療の研究・開発・提供を実践します。
4. 地域医療への積極的参加と連携強化を図ります。

特集 新病院開院から 1年半経過して

病院長 北島康雄



北島康雄病院長

岐阜大学病院は、平成 16年 6月に新築 移転し開院しました。新病院は、完全電子カルテ化によるペーパーレス・フィルムレスを実現したほか、全国最大規模の高次救命治療センターを設置、救命救急センター(平成 18年 2月から高度救命救急センターに認定)の指定を受けて、24時間体制で高度な救命救急医療を提供しています。

新施設は、旧敷地の約 4倍となる 12万 4千㎡の敷地内にバリアフリーに配慮した免震構造 9階建てで、病棟・中央診療棟・外来棟が一つの建物に集約した複合型病院棟になっています。また、1階アトリウム(床暖房)や多目的ホール(医療ガス等配備)は、大規模災害時の治療スペースとして活用できる構造になっています。さらに屋上に設置したヘリポートは、ヘリコプターによる救急患者様の搬送に活用されています。

一方、大学の法人化により、運営費交付金と病院の自己収入での病院運営と新築・移転した新病院の運営を軌道に乗せるという大きな課題を背負いながら、新病院で診療を開始してから早や 1年半経過しました。お陰様で患者様や関係機関各位のご理解・ご協力により当病院の診療活動及び病院運営・経営は順調に推移しています。また、本年度には、「財団法人日本医療機能評価機構」



新病院全景



病院 1階アトリウム

による病院機能評価を受審する予定です。

岐阜大学病院は、『あなたとの対話が創る信頼と安心の病院』との理念を掲げ、患者様にやさしい治療を提供するとともに、高度先進医療の研究開発、特徴ある先進医療の導入や患者様へのより良い医療サービスの提供などに積極的に取り組んでいく所存ですので、よろしくお願ひします。

なお、医師の疾病に対する取り組みや専門医としての取り組みが検索できるよう「岐阜大学病院のホームページ」をリニューアルしましたので、是非ご利用ください。



電子カルテによる診療風景

特色ある診療内容：診療科・部門紹介

○ 高次救命治療センター ○

高次救命治療センター長 小倉真治



小倉真治
高次救命治療センター長

高次救命治療センターは、急性期重症患者の治療に当たる岐阜大学病院の中央診療部門であり、救急部門・手術部門・集中治療部門・血液浄化治療部門で構成されています。病院内外で発生する重症患者様、他の医療機関・救急救命センターで対処できない高度な治療を必要とする患者様に対して、24時間体制で総合的、集学的な高度な診断・治療を行っています。いわば岐阜県救急医療の最後の砦であります。

それとともに地域住民、救急隊、病院を連携した病院前救護体制の整備を地域の中核病院として担っています。また医学生、医師、看護師や他の病院スタッフ、救急隊員に対して、臨床教育・研修を行い、21世紀の医療を担う人材の養成を図っています。

【施設、医師数】

病床数：ICU 6床、HCU 20床

医師数：中心となる救急専門医：救急指導医 1名
救急専門医 4名を含めた専従医師が 24名（研修医を除く。）これは日本でも最大級です。

【ドクターヘリ、ドクターカー】



救急ワークステーション（ドクターカー）
平成 13年度厚生労働科学特別研究事業として、全国救命救急センターに搬送された患者様のうち、外傷で亡くなった患者様について防ぎ得る外傷死がどの程度あったかについて調査が行われました。その結果、防ぎ得る外傷死が外傷死亡の 38.6%にのぼるという結果が得られました。

当病院高次救命治療センターでは、外傷治療を最も重要な疾患として治療に当たっており、全国平均と比較して防ぎ得る外傷死が 82%と極めて優れた水準にあります。外傷患者様の死亡を減らすためには、搬送体制の整備も大きな課題です。重症傷病者では、1時間以内に根本的な治療が開始されることが救命率を高めることと大きな相関があるとされていますが、その治療開始までの時間の短縮にはヘリコプターの活用が極めて有効であることが認識されています。

当病院は岐阜県と協定を結び、消防防災ヘリを用いた岐阜型ドクターヘリ事業を展開しています。

ドクターが岐阜大学病院屋上ヘリポートで消防防災ヘリに搭乗して現場に向かうもので、昨年度の実績ではおよそ 80回のヘリコプター搬送（週に



消防防災ヘリによる患者様搬送

1.5回程度）が行われ、この中にはヘリで搬送しなければ救命出来なかった患者様が多数含まれています。また岐阜市と協定を結んでいるドクターカー・ワークステーション事業は同様に重症患者様を現場から治療するために医師が同乗して救急車を運行するというもので、救命率を向上させております。

【主な疾患】

外傷：これまで岐阜県では多発外傷などの重症外傷では救命が困難でしたが、超重症外傷患者様も助けています。中には飛騨、西濃、中濃などからヘリで搬送されてようやく救命できた方も多数おられます。ちなみに平成 17年の岐阜県全体の交通事故死亡者数はその前の年に比べて約 20%減の 157名（前年 194名）にとどまりました。これは当病院だけではなく岐阜県全体の救急医療体制の整備によるものですがその一翼を我々が担っています。

心血管障害：センター内には緊急心臓カテーテルチームのメンバーが常に待機しており、心筋梗塞など緊急の心臓カテーテルに即時に対応できます。

その他重症疾患：ここには書ききれませんが、生命に危険をもたらすあらゆる救急疾患に対して豊富なスタッフを擁して県内はおろか、中部地方でも最高の治療を行っています。

平成 16年 11月に救命救急センターの指定を受けましたが、平成 18年 2月には岐阜県内初の高度救命救急センターとして認定されることになりました。このセンターは救命救急センターのうえに、中毒、指趾切断、熱傷などの治療を行うという施設を認定するものですが、我々が既に行っている診療内容がそれを上回って余りあることがその原動力です。

外来診察日一覽

凡例 ○:初診 再診 ○:初診 △:再診 休:再診

診療科 (臓器別名)	月	火	水	木	金	
内科	消化器内科	△	○	△	△	△
	循環器科	△	△	△	休	△
	腎臓内科	○	△	△	休	△
	呼吸器科	△	△	△	休	△
	血液・感染症内科	△	△	△	△	△
	東洋医学	○ <small>午前のみ</small>	△	△	○ <small>午後のみ</small>	△
	糖尿病代謝内科	○	△	△	△	△
	免疫・内分泌内科	○	△	△	△	△
	神経内科・老年科	△	△	△	休	△
外科	心臓血管外科	△	△	△	△	△
	呼吸器外科	△	△	△	△	△
	消化器外科	△	○	△	△	△
	乳腺外科	△	○	△	△	△
	甲状腺外科	△	△	△	△	△
	腎移植外科	△	△	△	△	△
成育医療科(女性科 産科 婦人科)	△	△	○	△	△	
整形外科	○	△	△	△	△	
脳神経外科	△	△	△	△	△	
眼科	△	△	休	△	△	
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	△	△	休	△	○	
皮膚科	△	休	△	○	△	
泌尿器科	○	△	△	△	△	
精神神経科	△	△	△	△	△	
小児科	△	△	△	△	△	
放射線科	△	△	△	△	△	
麻酔科・疼痛治療科	△	△	休	△	△	
歯科口腔外科	△	△	△	○	△	
総合診療部	△	△	△	△	△	

診察日は、変更する場合がありますのでご了承下さい。

受付時間 / 診察開始時間 / 休診日

初・再診受付：8：30～11：00

診察開始時間：9：00～

休診日：土日曜日、祝祭日、年末年始

外来受診の方法

初診の患者様は、1階ホールに設置の記載台にて診療申込書に必要事項を記入いただき、保険証を提示の上初診窓口で受付をします。受付後、それぞれの診療科をご案内します。再診の患者様で予約なしの方は、再診窓口にて当日の予約をし、それぞれの診療科受付へお越しく下さい。

予約のある患者様は直接2階の総合受付又は当該診療科の受付へお越しく下さい。受付では、診察券を提示いただきます。受付担当職員が診察券を受付機に通すことによりそれぞれの診療科の受付が完了します。

受付完了後は、各診療科診察室前でお待ちください。

各診療科診察室前の大型のディスプレイに、患者様の番号が表示されましたら診察室にお入りください。

予約診療

当病院は、基本的に再診は予約制となっています。初診で受診され、次回の診察が必要な場合には、医師が診察直後に患者様と相談の上、次回の診察日及び診察時間を設定し予約します。会計窓口で会計処理の際、診察券の裏面に次回診察日時が印刷されます。次回予約がなくて、再度診察を希望される場合は、予約センター(058-230-6123～6124)にお電話いただき、診療予約を取っていただくこととなります。

予約がなくても、直接来院されて、再診窓口にて当日予約を取ることも可能ですが、この場合は当日に担当医が不在で、別の医師となることもあります。なお、初めて本院を受診される方及び本院の他の診療科を初めて受診される方は予約はできません。

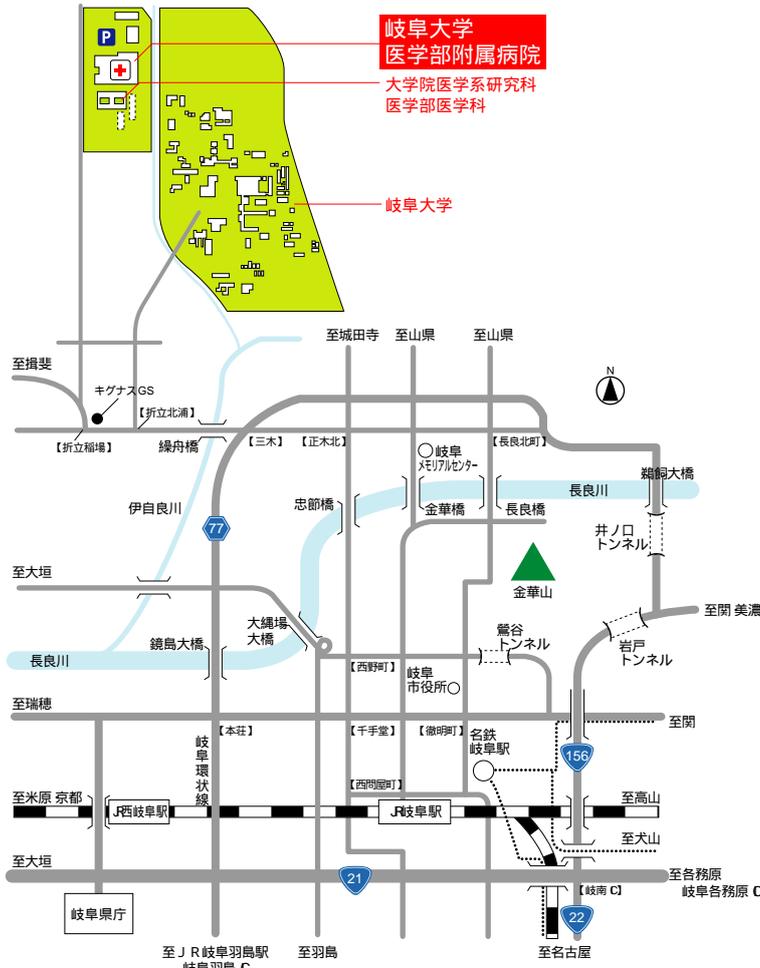
岐阜大学病院の個人情報保護について

当病院では、患者様が診療をお受けになることに伴い、診療に関する記録を作成・保存しておりますが、この記録には患者様の個人的情報が多く含まれています。

この取扱いについては、平成16年4月に「個人情報保護方針」を宣言し、これによる院内規程等を整備し、患者様の個人情報の適正な取扱いについて院内への周知徹底を図っています。

つきましては、当病院における患者様の貴重な個人情報を含む記録を、医療機関として、また、教育研究機関として所定の目的に利用させていただきたく、患者様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

位置図



病院へのアクセス

鉄道をご利用の方

JR東海道線で「岐阜駅」下車
名古屋鉄道名鉄本線で「名鉄岐阜駅」下車

バスをご利用の方

岐阜バス
岐阜大学病院線・岐南町線で「新岐阜バスターミナル、JR岐阜駅」乗車、岐阜大学病院下車 所要時間 30～40分

運賃：新岐阜・岐阜駅から 310円)

タクシーをご利用の方

JR岐阜駅、名鉄岐阜駅から約 20分
約 3,000円)

病院駐車場のご案内

本院では、約 500台が駐車できる外来患者駐車場を用意しています。

【駐車整理料金等】

○外来患者：受診日当日 ……**無料**

○入院患者：入・退院日当日 ……**無料**

「会計窓口等」で駐車整理券を提示し、受診されたことの確認を受けてください。

確認の時間・場所

平日 8時 30分～17時 15分（1階会計窓口）
その他の時間（1階夜間受付）

○一般外来者（面会お見舞い付き添いほか）

入構から 30分まで ……**無料**

入構から 30分を超え 90分まで ……**200円**

入構から 90分を超え 24時間まで ……**200円**
に 90分を超える 1時間までごとに 100円を
加算した額。ただし、その額が 500円
を超えることとなる場合は 500円

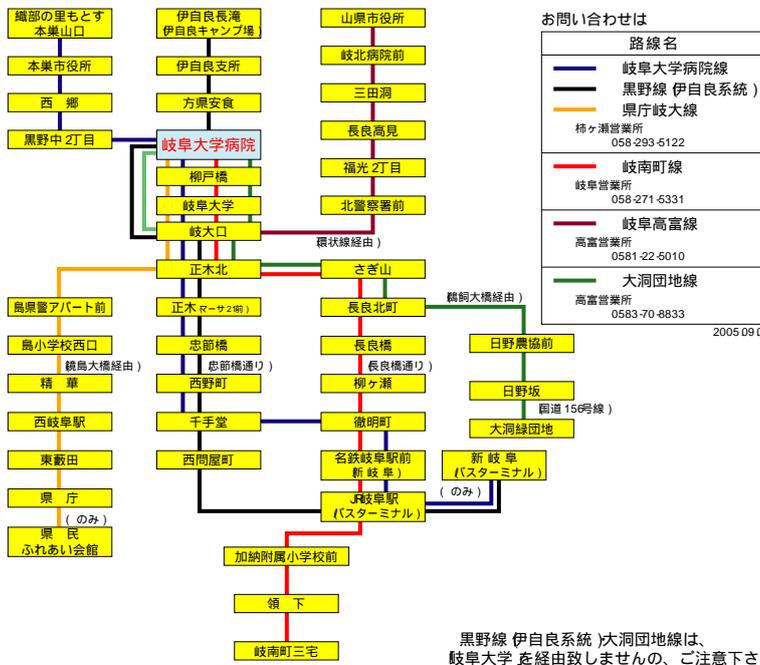
入構から 24時間を超える場合 ……**500円**
に 24時間までごとに 500円を加算した額

なお、入院中に駐車されている場合（入退院日当日を除く。）は、1日あたり 500円の駐車整理料金をお支払いいただくこととなります。

（注意）

駐車整理料金は、現金または病院内で販売されているサブ（IC）カードで精算願います。現金での料金精算には小銭が必要となりますので、あらかじめご用意願います。（1万円札・5千円札・2千円札は使用できません。）

岐阜バス岐阜大学病院 系統・路線図



黒野線 伊自良系統 大洞団地線は、岐阜大学 産経由致しません、ご注意ください。



病院広報 鵜舟第 7号

平成 18年 1月発行

発行 / 岐阜大学大学院医学系研究科医学部情報委員会附属病院部会

〒501-1194 岐阜市柳戸 1番 1 TEL(058)230-6000(代)

< 岐阜大学病院ホームページアドレス <http://www.med.gifu-u.ac.jp/> >

患者様へのサービス

医療福祉支援センターの役割

医療福祉支援センター長 藤原久義



藤原久義
医療福祉支援センター長

最近の医療の複雑化とともに、医師や看護師が行う純粹の医療行為の他に、様々な患者様やご家族の悩みの解決を支援したり、また患者様やご家族と大学病院、さらに開業医・一般病院等の間を繋ぐ総合医療相談室が必要になってきました。当病院の医療福祉支援センターは、このような患者様やご家族が抱える「社会的」、経済的」、あるいは「精神的」な悩みの解決を支援する施設として、平成14年にスタートしました。

医療福祉支援センターでは、表に示す患者様やご家族からの医療・心・看護・臨床検査・服薬・栄養・医療福祉・医事相談をお受けしています。

医療福祉支援センターは病院玄関近くにあり、9人のスタッフがお待ちしています。

なお、なるべく事前に相談日時を電話等で予約の上、お越しいただきますようお願いいたします。その他、医療機関からのFAXを介した患者様の診療予約（午前8時半から午後7時まで）も行っています。

相談区分	相談時間等	相談内容等
医療相談	8:30~12:00	通院中・入院中の患者様とご家族の医療に関する相談
女性専科	予約制（水曜日）	女性医師によるからだの健康相談
こころの相談	予約制	療養に関する心理的・社会的な相談
看護相談	13:00~16:00	患者様とご家族の疾病についての相談に対する支援 がんストーマ造設などの告知をされた患者様への精神的支援
臨床検査相談	13:00~16:00	検査に伴う各種の情報提供支援
服薬相談	13:00~16:00	くすりに関する情報提供と服薬相談
栄養相談	13:00~16:00	生活習慣病予防などの食事に関する支援
医療福祉相談	8:30~16:00	医療費・生活費などの経済的問題や社会福祉制度の相談 療養生活、転院、退院に伴う相談
医事相談	8:30~17:00	公費負担相談、各種証明書などに関する申請手続きの相談
苦情、要望等	8:30~17:00	診療についての苦情、要望等の受付

医療福祉支援センター TEL 058-230-7033 FAX 058-230-7035

セカンド・オピニオン外来の紹介

① セカンド・オピニオンとは

当病院では複数の医師が診察・治療をすることがあり、これもセカンド・オピニオンですが、一般的には他の医療機関の医師に診察や治療方針について意見を聞くことを指します。

② どういう時に利用するのか

病院や診療所で診断や治療の説明を受けたが、迷ったり、悩んだりしている時（自分が受けた診断について確信が持てなかったり、決断に至るまでの情報が足りないと思った時）。

③ セカンド・オピニオンのメリット

主治医の治療方針への不安の解消に役立つ 病気や治療法に対する理解が深まる 同一の病気や状態に対して、複数の治療法が選択できるようになる

④ セカンド・オピニオンを上手に受けるには

疑問点は先に主治医に聞く 紹介状と診療情報を提供してもらう 受け入れ先に確認を取る 病気の経過と質問をまとめておく 自分の病気の情報を集める 手順をよく考える 主治医に報告をする

⑤ セカンド・オピニオンを受けられた方の声

診断についてより細かな説明が伺えた 分かりやすい説明で不安が解消された 知りたかったことに対して適確な指導を受けることができた

⑥ セカンド・オピニオン申し込み・受付 < 予約制 案内・申込書送付 >

岐阜大学病院（1階）医療福祉支援センター内 セカンド・オピニオン担当者
〒501-1194 岐阜市柳戸1番1 TEL 058-230-7049 FAX 058-230-7035

>>入院生活

医療サービス課

病院玄関はもとより、各病棟にも掲げています
病院の理念 あなたとの対話が創る信頼と安心の病院
のもと、スタッフ一同患者様が快適な入院生活を
送っていただくための支援をさせていただきます。

当病院の各病室は広めに造られており、余裕ある
動きが可能となっています。また、各階のシャワー
は8時から2時までご使用いただけます。ご家族様
やご面会の方々とのゆとりある面会等ができるよう
にパブリックゾーンとしてダイニングルーム、
デイコーナー、面会コーナーを開放しています。
また、家族控室を用意しています。

院内にはレストランをはじめ、売店、喫茶、理美容
室及び現金自動支払機を設置し、日常生活が不
自由なく送れるよう配慮しています。さらに、平
日13時から16時の時間帯にかけては、病棟内のワ
ゴン販売を行っています。洗濯等については病棟
各階に洗濯機・乾燥機を設置し、7時から2時まで
有料(サブカード)で使用できます。

>>患者様のご意見について

さわやかサービス委員会

患者様のご意見をお聞きするために、各病棟及び
外来棟の各所に「ご意見箱」を設置しています。

ご要望、改善事項等がありましたら、ご意見をお
聞かせください。

お寄せいただいたご意見ご要望については、さわ
やかサービス委員会で検討し、病院の方針を決定の上、
外来棟玄関に設置の掲示板等で患者様に回答させてい
たいただきます。

ご意見の中から

トイレの汚れがひどいとのご指摘

回答) 一日5回の定期清掃を行っていますが、汚
れがひどい場合は随時清掃を行っています。今後
一層の清潔維持にご協力をお願いします。

身体障害者専用駐車場に、健常者の方が駐車し
ていて障害者の方が駐車できないとのご意見を
いただいています。

回答) ご迷惑をおかけしています。平日8時から
17時の時間帯に整理員を配置して管理することなど
の検討を進めています。



電子カルテでのインフォームド・コンセント

看護部を2~3のグループに分けた「固定チームナースィング」方
式を採っています。患者様には受持ち看護師が一貫して入院から
退院まで看護に当たりますが、夜勤等で受持ち看護師が不在の時でも
同じチームの看護師が担当しますので、継続した看護を受けること
ができます。

病棟での看護

副看護部長 畑 裕子

看護部では、「安全で思いやりのある看護」を理念に掲げ、患
者様により質の高い看護を提供できるように病棟での看護実践に
努めています。

病棟における看護の基本は、患者様が入院生活を安全かつ安楽
に過ごせるように支援することであり、そのために看護師は医師
の診療の補助とともに、患者様の療養環境を整えることや日常生
活の支援を行っています。

病棟では、患者様一人ひとりの個別性を大切に、継続性のある
看護を行うために受持ち制で、

また、チーム
リーダーを中心
に日々の看護
を振り返り
検討することで、
より患者様に即した
質の高い看護が
提供できるよう
努めています。



病棟ダイニングルームでの対面配膳

新病院は患者
様のアメニティを
重視した設計です
が、ハード面
だけではなく、
ソフト面でも
より良い療養
環境となるよう
に、患者様の
プライバシー
への配慮や
接遇に、さら
に取り組み
ていく考え
です。

病院統計

区 分		平成16年度	平成17年度 (4~12月)
入院	1日平均患者数	470人	533人
	病床利用率	77.5%	87.9%
	平均在院日数	19.66日	17.39日
外来	1日平均患者数	1,040人	1,191人
	患者紹介率	49.2%	54.0%
手術件数	1か月平均	261件	345件
救急搬送件数	1日平均	5.1件	4.7件



病院広報 鵜舟第7号

平成18年1月発行

発行 / 岐阜大学大学院医学系研究科医学部情報委員会附属病院部会
〒501-1194 岐阜市柳戸1番1 TEL(058)230-6000(代)

< 岐阜大学病院ホームページアドレス <http://www.med.gifu-u.ac.jp/> >